

舎人公園 ドッグラン利用ガイド&マナー

1. エリアは、犬種によって「小型犬エリア」と「中・大型犬エリア」に分かれています。管理者から「LARGE」指定があった犬は、中・大型犬エリアを使用してください。不明な時は、公園サービスセンターにお問合わせください。
(エリア分けの基準体高は、JKC のホームページか JKC 発行の犬種基準書で確認できます)
2. 24時間利用可能です。夜間は暗所となり危険度が増すので、足元や周囲に十分注意してください。
3. 出入口は二重扉になっています。ドッグラン内にいる犬が外に飛び出すことを防ぐため、片方の扉が閉じていることを、必ず確認してから扉を開閉してください。
4. 首輪または胴輪は、常時装着させてください。装着させていないと、犬同士ケンカになった時など、犬を即座に制御できません。
5. マウントやにらみ合いなど、ケンカに発展しそうな行為は、即止めさせてください。ケンカになってしまったら、飼い主は慌てず冷静に止めてください。咬まれてしまう可能性が高いので、ケンカしている犬の頭部付近に、手をかざさないでください。周囲にいる飼い主は、愛犬がケンカに参加しないよう制御してください。
6. 犬にも相性があります。相性の悪い犬がいる時は無理に入場しない、一旦ドッグランから出るなどの予防策を講じるにより、咬傷事故を未然に防ぐことができます。
7. 犬の性質上、未去勢のオス犬同士は、ケンカをする可能性が高いと言われています。未去勢オス犬の飼い主は、厳重注意をお願いします。入場前に声かけし、リードを離す前に相性確認をしましょう。
8. 中・大型犬エリアでは、ケンカ仲裁や遊び等いかなる理由であっても、犬の抱き上げ、それに類似した行為は禁止です。犬が興奮し、飛びつき・咬みつき事故に発展します。(犬の救急搬送時を除く)
9. 糞や汚物などは、公園のゴミ箱に捨てずに、飼い主が責任を持ってお持ち帰りください。公園のトイレに流したり、放置したりするのは絶対に止めてください。(糞の入ったビニール袋やウッドチップがついた糞を流すとトイレ故障の原因となります)
10. 放置糞・異物・ゴミなどを発見したら、他人任せにせず、利用者の一員として率先回収し、ドッグランの安全美化に努めましょう。犬が穴を掘った場合は、必ず飼い主が埋め戻してください。
11. 人は、ドッグラン内で走らないでください。人もキャッチボールなどのボール遊びはできません。
12. 汚れてもよい服装・荷物でご利用ください。破損して困る物品は持ち込まないでください。

18歳未満のお子様をお連れの方へ ドッグランは犬優先です

- ・犬にも人にも危険が伴う場所です。お子様を入場させる時は、保護者責任のもと、安全管理をしてください。
- ・すべての犬が、子ども好きとは限りません。飼い主に無断で、お子様を他の犬に近づけたり、触らせたりしないでください。危険です。
- ・犬が走り回り、突進してくることがあります。お子様の一人歩きには十分注意してください。
- ・お子様が走ったり、甲高い声や悲鳴を上げたりすると、犬が興奮し危険です。すぐに止めさせてください。
- ・上記について、保護者の方にご理解いただけない場合、お子様の入場を禁止します。

利用エリアを決める犬種の基準について

小型犬と中・大型犬との振り分けは、日本犬保存会が小型犬と定めている柴犬の純血種・犬種基準体高(最大 41.5 cm)に基づき行っています。

小 型 犬 エリア=柴犬の基準体高以下の犬種

中・大型犬エリア=柴犬の基準体高超えの犬種

個体差により、登録犬の体高が、柴犬の基準体高を超えたり満たさなかったりしても、同様に、登録犬種の基準体高によって利用エリアを分けます。

ミックス犬など、判断に迷う場合は、入口に設置してある案内板か専用メジャーで確認してください。

生後 6 か月未満の中・大型犬は、体高が基準を満たすまで、小型犬エリアを利用できます。

ドッグランは、舎人公園とボランティア・舎人 DOG RUN サポートクラブが協働により管理・運営を行なっています。有志による奉仕活動に支えられています。